

毛里田の風

1月号



法人理念：多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊重を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

法人使命：「志と誇りを高く！自分も周りもしあわせに！そして、円満へ。」

* 仏教の『自利利他円満』の教えより。

社会福祉法人毛里田睦会 理事長 長谷川俊道

施設運営の方針

「安心してやすらぎのある生活」を送っていただけるよう施設サービスの充実に努めます。

1月の行事予定

13日

御祈禱

20日



手作りおやつ

おしるこ



1月のお誕生者様

岡田 様	83歳
遠藤 様	87歳
若林 様	94歳



2025年問題 第2回 『医療における医師不足』と『介護の問題』



2025年問題による影響がもっとも大きいのが「医療業界」です。医療や介護サービスの利用が急増する中、病院や医師の数が減少傾向にあり、**医師や看護師の人手不足**が深刻になっています。厚生労働省の推計によれば、2025年の医療保険給付は「**総額54兆円**」になる見通しで、これは衰えゆく日本の財力では、到底賄える額ではありません。当然、医者がいなければ、治療ができません。2025年問題では、医療を必要とする高齢者が増加する一方で、医師不足という深刻な問題に直面します。

「介護の問題」では「要介護」の高齢者が急増する一方で、**介護人材の不足**が懸念されています。2025年には「**介護難民**」の急増が予測され、介護が必要な「要介護者」に認定されているにもかかわらず、施設に入所できない、適切な介護サービスを受けられないといったことが起こります。在宅介護の必要性も増しますが、家庭内での介護は経済的な負担だけでなく、介護疲れによる精神的な負担も、家族に重くのしかかります。厚生労働省の推計によると、2025年には**高齢者の5人に1人が認知症**になり、要介護者が増える見通しとなっており、「介護人材の不足」「老々介護」「認認介護」は2025年問題において深刻な問題です。



新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口について

(一般の方) 「**高熱**」「**強いだるさ**」「**息苦しさ**」「**発熱が続く**」

「**咳が続く**」などの症状があった場合

かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に「**電話で相談**」

相談する医療機関に迷う場合は 居住地の「**受診相談センター**」へ

県受診・相談センター【24時間対応】

☎0570-082-820

新型コロナウイルス感染予防のためにできること=新しい生活様式の実践

自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠。

一人一人の基本的感染対策

- ①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い
- 人との距離はできるだけ2m(最低1m) 空ける
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
- 外出時、会話の際は症状なくてもマスク着用
- 帰宅後は先ず手や顔を洗う。着替やシャワーも!
- 手洗いは30秒程かけ石鹸よく洗う(手指消毒も可)
- * 高齢者等の重症化リスクのある人と会う際には体調管理をより厳重にする**

ご家族様へ

1月より**口腔衛生管理体制加算(30単位/月)**を算定させて頂くことになりました。「口腔衛生管理体制」とは介護保険施設において、歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に対する口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上行っている場合。そして、歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士の技術的助言及び指導に基づき、入所者の口腔ケアマネジメントに係る計画が作成されていること。**歯科衛生士によるプロフェッショナルケアの導入です。**

介護でお困りのことがございましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。

〈ご案内〉月曜日から金曜日の平日9時~17時の間に事務所窓口へお声掛けください。お待ちしております。

連絡先：0276-56-9357

介護支援専門員：石原ひろみ

ダイヤより



🎄クリスマス会

🎄職員によるパフォーマンス



思いを引き出す支援

コミュニケーションは情動的な共感、更には相手の行動も影響する作用を含んでいます。さまざまな思いをもって、生活する人と人との関わり合いです。気持ちを共有しともに楽しみ、その姿を見守るという視点「共感的理解」の考え方の実践に取り組んでおります。自身の思いに共感してもらっていると感じられた瞬間に相手の心は動きます。喜び・楽しみ「感情」を大切にした関わりを行っております。

介護福祉士：亀井昌美



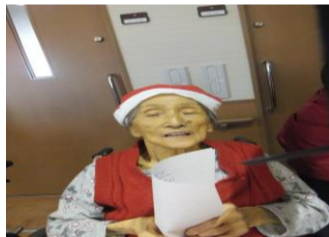
スペードより

12月25日ダイヤホールにてクリスマス会を行いました。皆で歌を歌い、職員のパフォーマンスにはとても感動されました。プレゼントに職員手作りのコースターを。昔の編み物を懐かしむ声も聞かれました。行事前には各ユニットポスターを貼りだし、ゲスト様間で「25日はクリスマス会だって。楽しみだね」といった会話も聞かれました。当施設では毎月行事をやっています。行事は、楽しい時間が持てる・多くの人との交流を通して社会的なつながりが感じられるなど、生きがいを見いだす一助となります。身体的・精神的にリフレッシュでき、高齢者にとってさまざまな効果を期待できます。どうやったらゲスト様にさらに喜んでいただけるか考えていきたいと思っております。



クローバーより

2020年最後のイベント🎄クリスマス会より



🎄新しい年も健康で過ごせますように🎄



看護より

担当：小林志奈子

皆さま健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。コロナウィルスの終息はまだまだみたいですが施設職員一同感染防止に努めていきたいと思っておりますのでご家族様もご協力をお願いいたします。

調理より

担当：前原紀子

昨年は大変お世話になりました。本年も温かく季節の食材を取り入れたお食事を提供して行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

12月は冬至、クリスマス、年越しそばと行事食を提供させていただきました。12月21日の冬至では、利用者の皆様に柚子湯で体を温めていただき、食事では南瓜といんげんの煮物、柚子のねりきりを提供しました。ゆずの果皮には風邪予防や保湿にいいとされるビタミンCや血行を促すヘスペリジンが豊富に含まれています。食事にも柚子を取り入れ、体の内側から温まる食事を提供して行けたらと思います。

特養毛里田では食の安全を重要視し一部無農薬・化学肥料不使用で作った野菜を取り入れてます。作っているのは『のりさん農園(管理栄養士本人)』です。



のりさん農園では毎週月曜日に施設の玄関先で一般の方にも販売しています。(天候により中止の場合)



YouTubeチャンネル『のりさん農園プロジェクト』